

〈賛助会員のご紹介〉

多くの企業のご支援をいただいています。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 九州電力(株) | 太宰府天満宮 |
| (株)福岡銀行 | タマホーム(株) |
| 西部ガスホールディングス(株) | (株)テレビ西日本 |
| 西日本鉄道(株) | 東美 福岡店 |
| (株)西日本シティ銀行 | 長門博之法律事務所 |
| (株)九電工 | 学校法人中村学園 |
| 九州旅客鉄道(株) | 学校法人中村産業学園 |
| 朝日自動車(株) | (九州産業大学 |
| (株)味の兵四郎 | 九州産業大学造形短期大学部) |
| ASOポップカルチャー | (株)中村美術堂 |
| 専門学校 | 日本デザイナー学院 |
| 有澤ホールディングス(株) | (株)博運社 |
| (株)岩田屋三越 | 菅崎宮 |
| (株)ヴォイス | 晩香堂 |
| (株)エターナルラボ | 福岡芸生美術会 |
| 大松隆税理士事務所 | (株)平助筆復古堂 |
| 北九州書道協会 | 墨扇堂 |
| (株)喜多屋 | (株)みぞえ画廊 |
| ギャラリーSEL | ミナミ画材 |
| 櫛田神社 | 南谷総合法律事務所 |
| (株)久原本家グループ | (株)山本文房堂 |
| 健康住宅(株) | 文房四宝 和美創 |
| 社会福祉法人 さわやか会 | |
| (株)サンビルテックシステム | |
| (株)上海堂 | |
| 祥文社印刷(株) | |
| (株)新出光 | |
| (株)杉田写真館 | |
| (株)ゼンリン | |

令和7年度 在籍40年表彰者

公益社団法人福岡県美術協会では、40年間（1985年入会）にわたり、協会の運営に尽力した会員を表彰しました。

- | | |
|---------|---------|
| 【日本画部】 | 稲 員 頼 子 |
| 【洋画部】 | 中 尾 精 后 |
| 【書 部】 | 二 宮 欣 山 |
| 【デザイン部】 | 田 邊 幹 夫 |
| 【デザイン部】 | 山 田 彰 |

40周年表彰を受けて デザイン部 山田 彰

旧い市民会館の壇上に、新設され、法人化された福岡県美術協会（デザイン部）の初の会員が勢揃いした。その23名も、途中で辞めたり、亡くなったりして、あと残るは2名だけだ。今度一緒に表彰された、佐賀大学特設美術科工芸デザインの田邊幹夫クンと僕だけになってしまった。僕は、その時生涯現役を通そうと思った。現役を通せなくなった時が、（社）福岡県美術協会を辞める時だ。あれから40年が経ったのか。これまで、よく頑張ったものだ。こんな日が来るなんて、〈夢〉のようだ。途中で辞めた会員にも、誇らしく報告したい。

福岡県立美術館のご紹介



福岡県立美術館
館長
日高 公徳

本年4月1日付で館長に着任いたしました。よろしく願っています。

福岡県美術協会におかれましては、創立以来85年の長きにわたり、本県の芸術文化の普及・振興に多大なる御貢献を賜り、深く感謝申し上げます。特に、当館との共催事業である「県展」は、県民の創造意欲向上と、美術を通じた豊かな生き方の支援を趣旨とする全国有数の公募展でございます。本年、第80回という歴史を刻むことができますのも福岡県美術協会の多大なる御貢献があつての賜物であるものと考えております。

さて、昨年は当館の前身である福岡県文化会館が開館して60周年を迎え、本年11月に当館は開館40周年を迎えます。今後とも職員一丸となって、県民に美術の魅力を実感できる環境を創り出せるよう真摯に館の運営に取り組んで参る所存でございます。

最後に福岡県美術協会の益々の御発展と会員の皆様方の益々の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

福岡県立美術館 新課長



総務課長
秋山 真紗代

本年4月1日付で総務課長に着任いたしました。

県立美術館での勤務は初めてではございますが、美術協会の皆様方と連携を図りながら、精一杯業務に取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



福岡県立美術館

没後50年
高島野十郎展
10月11日(土)～12月14日(日)

《蠟燭》 大正時代 福岡県立美術館蔵



高島野十郎は、「蠟燭」や「月」などを独特の写実的筆致で描く福岡県久留米市出身の洋画家です。没後50年の節目に開催する本展は、「からすり」や《月》などの代表作はもちろんのこと、近年見つかったばかりの初公開作品も含めた約150点を展示する過去最大規模の回顧展です。

「孤高の画家」と呼ばれてきた野十郎の芸術が形成されたルーツを遡り、生涯、彼が自分自身のよりどころとしてきた仏教的思想を読み解きつつ、青年期や滞欧期の作品など、従来の展覧会ではそれほど大きく取り上げられることがなかった部分にも焦点を当て、その芸術の真髄に迫ります。さらには、野十郎の画業や芸術観の背景にあるものや彼が生きた時代の動きを探ることを通じて、美術史のなかに野十郎の画業を位置付けることもめざします。福岡県立美術館では、没後40年展ぶりの大規模な回顧展となります。

どうぞお越しください。